



ぎふ清流GAPの認証野菜
や県産野菜が並んだフェア
売り場＝大垣市鶴見町、ア
ル・プラザ鶴見

県産認証野菜に人波

大垣のスーパー「清流GAP」フェア

食品安全や環境保全、労働安全などの観点から持続可能な農業に取り組む農場を認証する「ぎふ清流GAP」のフェアが12日、大垣市鶴見町の平和堂アル・プラザ鶴見店で開かれた。認証農場や県内農家の新鮮野菜が並べられ、買い物客が興味深そうに品定めした。

ぎふ清流GAPの評価制度は県が2020年にスタート。残留農薬リスクの低減や土壌・水質汚濁防止、農作業事故の防止、全ての人が働きやすい職場環境の整備などについて、一定水準を満たす農場を認証している。国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも通

じるとして注目される。

フェアはJ-A全農岐阜が平和堂の協力で11、12日の2日間開催。青果売り場に認証を取得した郡上市のダイコン、神戸町の小松菜と水菜、県産の新鮮野菜の計13品目を並べた。

地元産の認証野菜と聞いた買い物客が集まり、買い求めていた。小松菜を籠に入れた女性は「SDGsにも関心があるし、おいしいから県産野菜をよく買う」と話していた。

(宮本寛)